

令和5年度 学校評価アンケート結果

吉野川市立鴨島第一中学校

1 アンケート実施状況

(1) 実施日

令和6年1月23日(火)～2月9日(金) ※今年度よりWeb上での回答

(2) 回答数

ア 生徒 317名 回答率 88.3% (昨年度 96.2%)

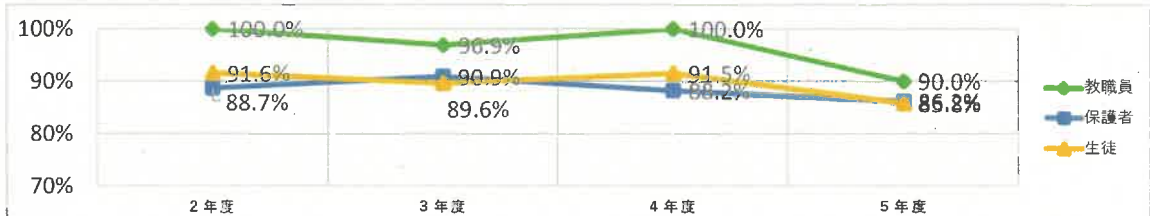
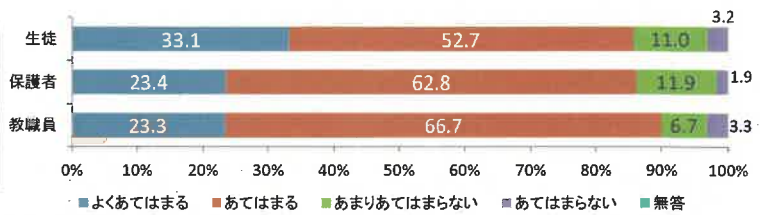
イ 保護者 261名 回答率 72.7% (昨年度 96.5%)

ウ 教職員 30名 回答率 100.0% (昨年度 100.0%)

2 集計結果

① 生徒は、授業にまじめに取り組んでいる。

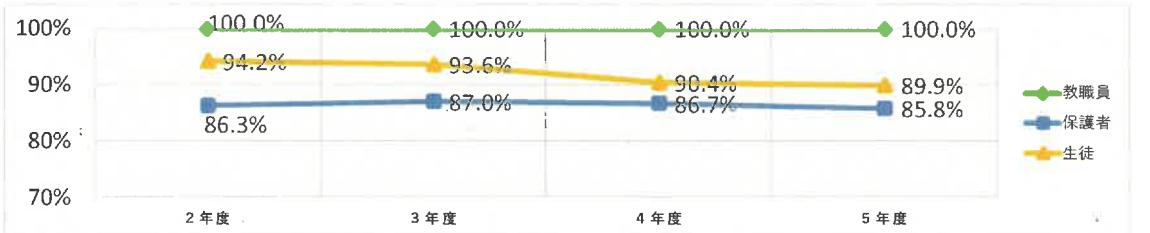
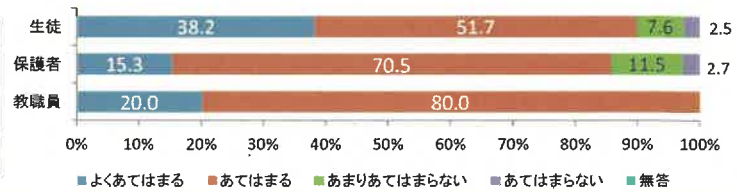
	あてはまる	あてはまらない
生徒	85.8%	14.2%
保護者	86.2%	13.8%
教職員	90.0%	10.0%



全学年のどの授業も真剣な態度で真面目に集中して受けることができているが、時折、グループ学習等で私語をしたり、疲れから居眠りをしたりする状況がある場合に「あてはまらない」に回答したのではと推測する。授業を集中して受けることが基礎学力の定着には不可欠である。これからもわかりやすい授業を積極的に実践していきたい。

② 先生は、教え方を工夫して、わかりやすい授業をしている。

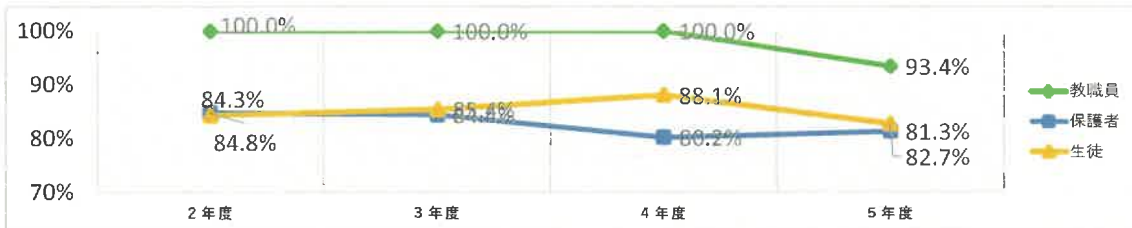
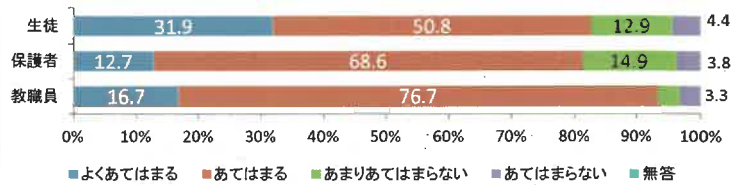
	あてはまる	あてはまらない
生徒	89.9%	10.1%
保護者	85.8%	14.2%
教職員	100.0%	0.0%



生徒、先生ともに高い割合の肯定群となっているが、保護者の「あてはまらない」と感じている割合が高い。ICTを活用し、わかる楽しい授業を展開するとともに、意欲を持って興味・関心を示す授業を再構築していく必要がある。

③ 学校は、適切な量の宿題を出し、家庭学習が続くように指導している。

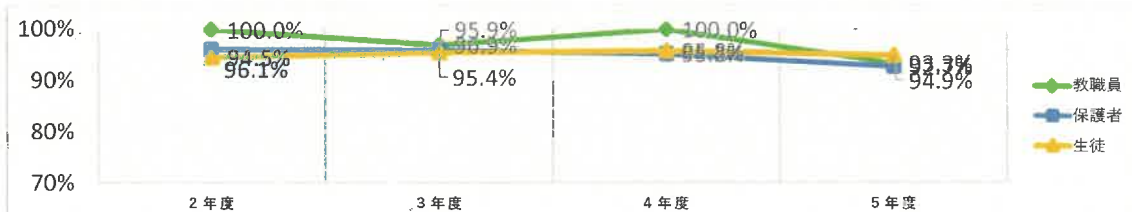
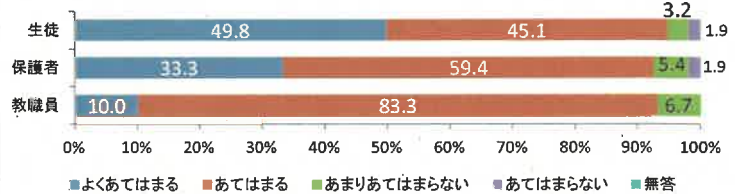
	あてはまる	あてはまらない
生徒	82.7%	17.3%
保護者	81.2%	18.8%
教職員	93.4%	6.6%



宿題を含む家庭学習の仕方を指導していくとともに、引き続き宿題以外の課題を自分で見つけ、家庭学習を充実させることができるように指導していきたい。

④ 生徒は、集団生活に必要なきまり（交通ルールやスクールルール）を守っている。

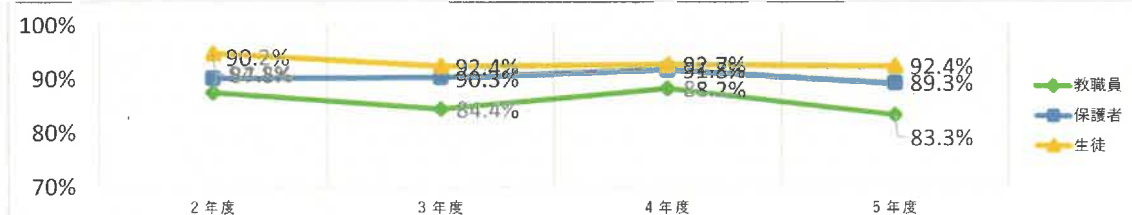
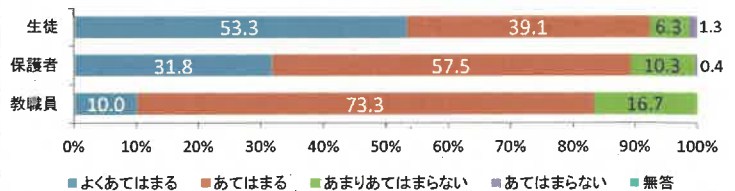
	あてはまる	あてはまらない
生徒	94.9%	5.1%
保護者	92.7%	7.3%
教職員	93.3%	6.7%



今年度も三者ともに90%以上の肯定群の回答であった。生徒一人一人が自主的・自律的な集団生活を送ることができているため、どの学年も落ち着いた雰囲気である。

⑤ 生徒は、友達や先生、近所の人にあいさつができる。

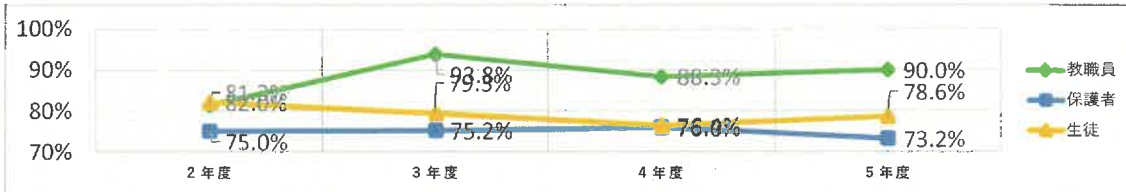
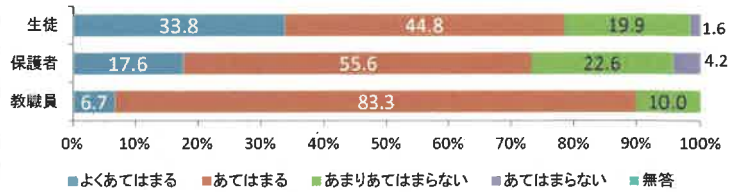
	あてはまる	あてはまらない
生徒	92.4%	7.6%
保護者	89.3%	10.7%
教職員	83.3%	16.7%



生徒会が中心となって生徒玄関での「あいさつ運動」に取り組んでいる。おおむね積極的にあいさつができているが、登校時の立哨では、声の小さい生徒も見られた。全員が元気にあいさつができるように呼びかけていきたい。

⑥ 生徒は、健康（食生活や運動）に気をつけ、規則正しい生活に取り組んでいる。

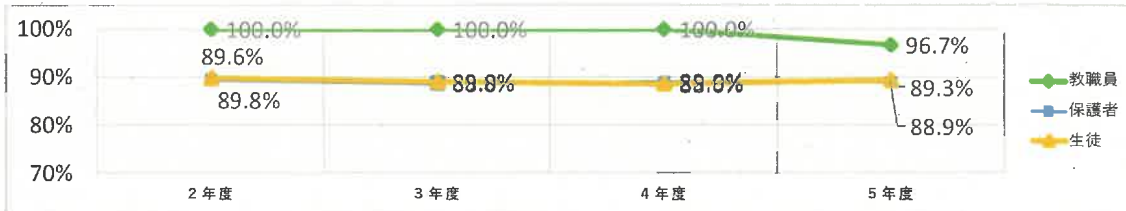
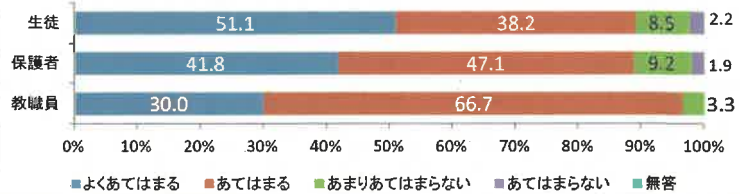
	あてはまる	あてはまらない
生徒	78.6%	21.4%
保護者	73.2%	26.8%
教職員	90.0%	10.0%



本校のソーシャルメディアポリシーとしてスマホの使用は22時までというルールで取り組んでいるが、遅くまでゲームをしたり、朝食を食べていなかったりする生徒も見られた。学校と家庭が連携して規則正しい生活ができるよう今後も取り組んでいきたい。

⑦ 生徒は、学校の行事や部活動に積極的に取り組んでいる。

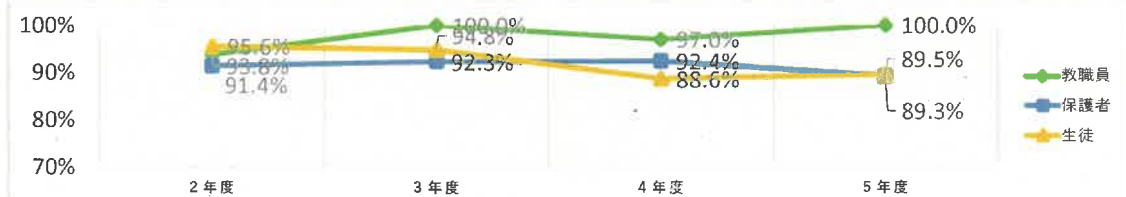
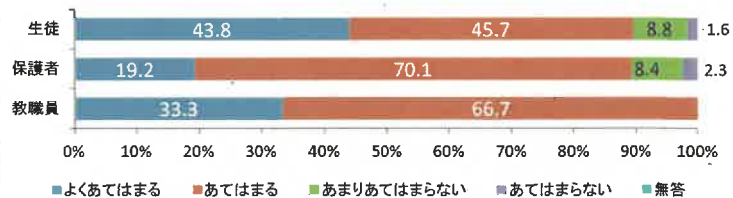
	あてはまる	あてはまらない
生徒	89.3%	10.7%
保護者	88.9%	11.1%
教職員	96.7%	3.3%



5類移行後の学校行事再開となり、一中祭や合唱コンクールなどの学校行事ではクラスが一致団結して積極的に取り組んでいると思われる。多くの生徒が部活動に積極的に参加し、活気あふれる活動ができている。

⑧ 先生は、言葉づかいや礼儀正しい行動について指導している。

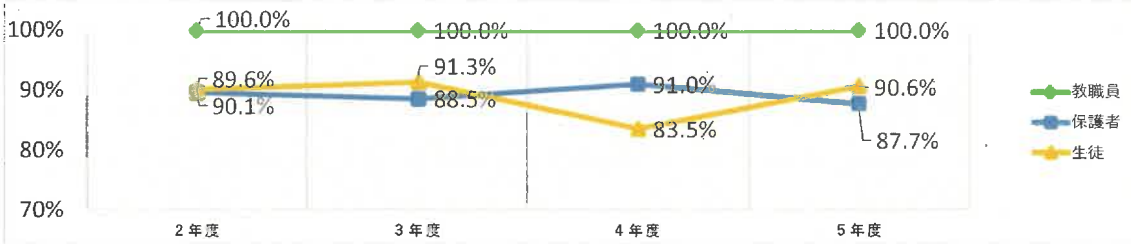
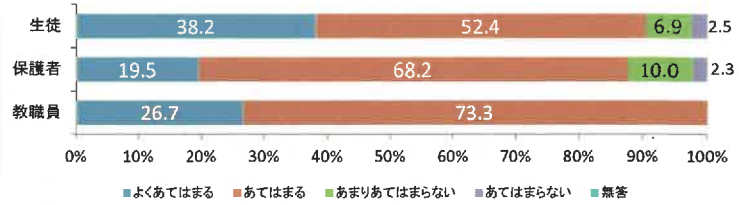
	あてはまる	あてはまらない
生徒	89.5%	10.5%
保護者	89.3%	10.7%
教職員	100.0%	0.0%



教職員は日頃の取り組みから100%の肯定群となっているが、生徒・保護者の割合が低くなっており、教職員が生徒の模範となるよう日々の言葉づかいなどに気をつけながら引き続き指導していきたい。

⑨ 先生は、好ましい交友関係（先輩後輩の関係、同級生との関係）になるよう指導している。

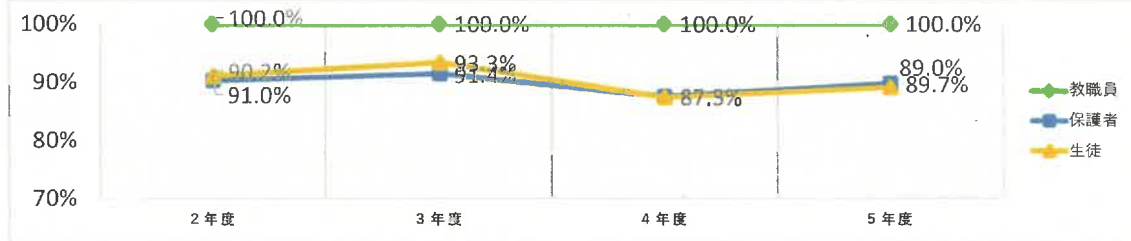
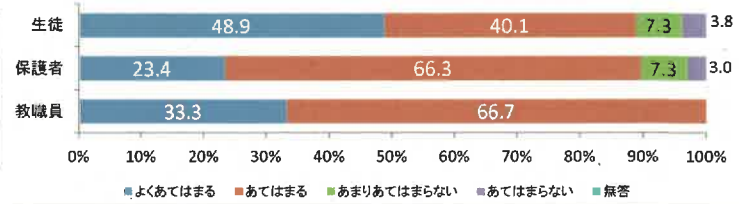
	あてはまる	あてはまらない
生徒	90.6%	9.4%
保護者	87.7%	12.3%
教職員	100.0%	0.0%



教職員は日頃の取り組みから100%の肯定群となっている。また、生徒の回答も90%を超える高い割合となっている。これからも生徒の気持ちをしっかり受け止め、保護者とも積極的に連携していきたい。

⑩ 先生は、生徒一人一人を大切に言葉がけをしている。

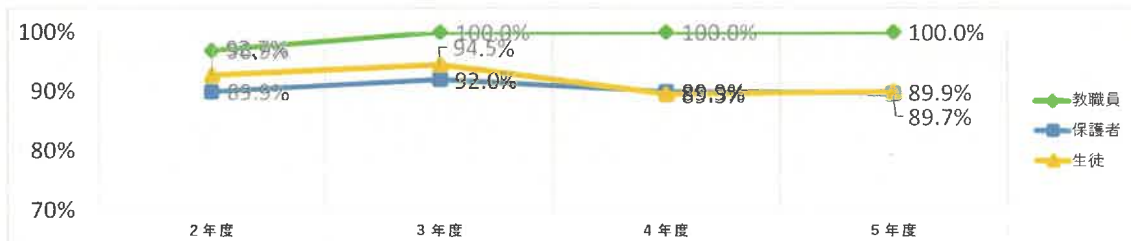
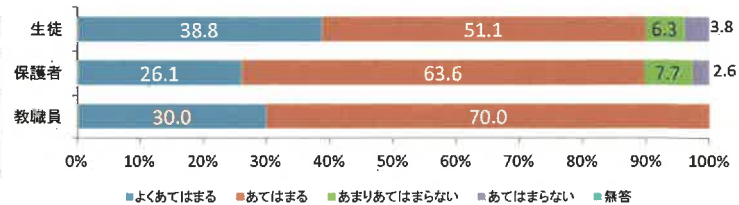
	あてはまる	あてはまらない
生徒	89.0%	11.0%
保護者	89.7%	10.3%
教職員	100.0%	0.0%



教育スローガンを「互いに認め合う」としており、今後も一人一人を大切に言葉がけができるように教職員に徹底していきたい。教師と生徒の信頼関係が深まるような会話を積極的に増やしていきたい。

⑪ 先生は、生徒からの質問や悩みの相談にきちんと応じている。

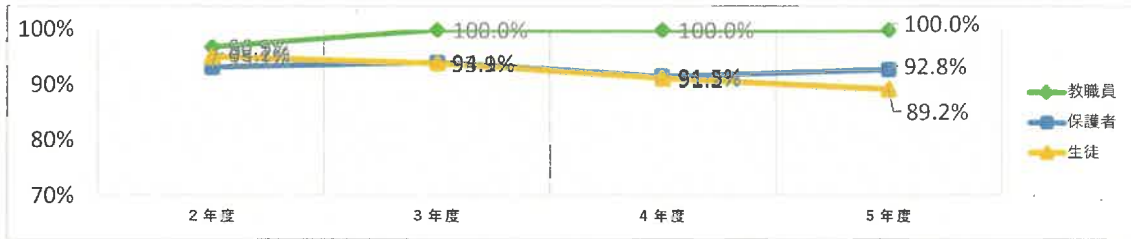
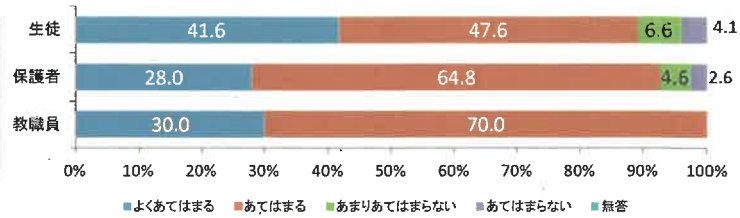
	あてはまる	あてはまらない
生徒	89.9%	10.1%
保護者	89.7%	10.3%
教職員	100.0%	0.0%



生徒・保護者ともに90%程度の肯定群の回答であり、おおむね生徒との対話ができているように思われる。学級担任以外の職員も生徒と気軽に会話ができる雰囲気があり、今後も「互いに認め合う」ことを大切にしていきたい。

⑫ 先生は、保護者からの質問や悩みの相談があるときはきちんと応じている。

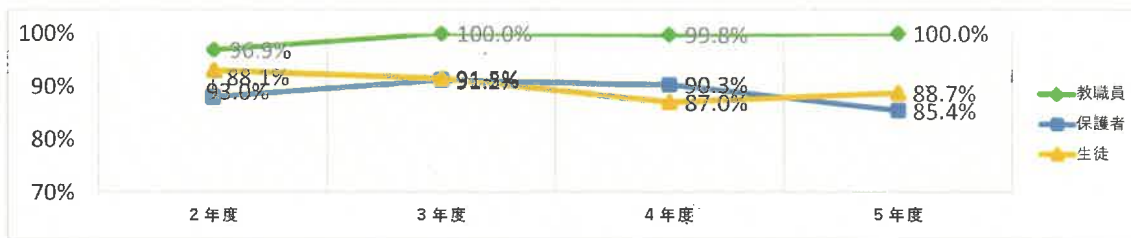
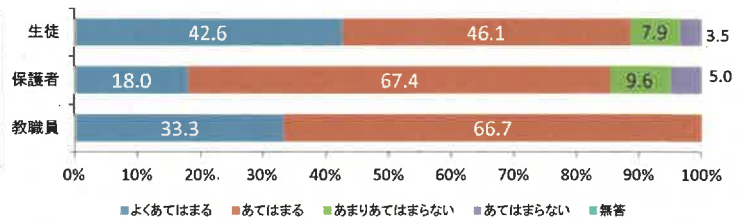
	あてはまる	あてはまらない
生徒	89.2%	10.8%
保護者	92.8%	7.2%
教職員	100.0%	0.0%



保護者の回答が90%を超えた肯定群となっている。また、教職員も日頃の取り組みから100%の肯定群となっている。今後も保護者の質問や悩みに真摯に向き合うよう努力し、信頼関係をさらに深めていきたい。

⑬ 先生は、いじめやトラブルなど問題が起こったとき、適切に対応している。

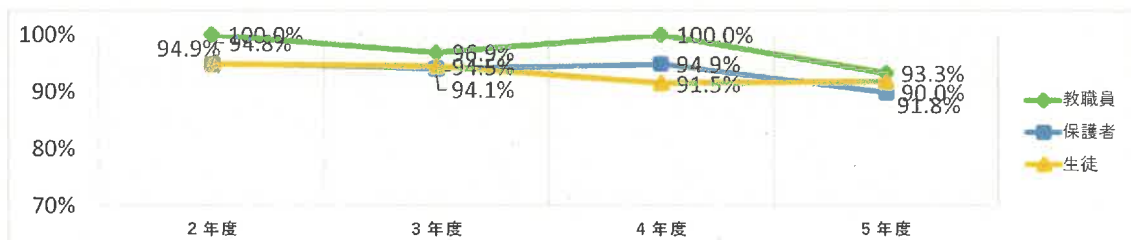
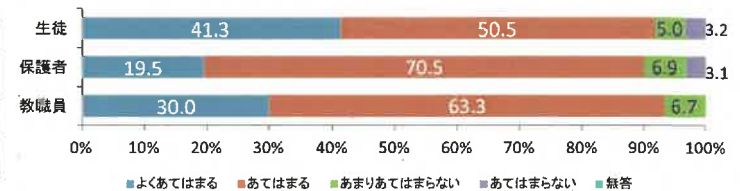
	あてはまる	あてはまらない
生徒	88.7%	11.3%
保護者	85.4%	14.6%
教職員	100.0%	0.0%



昨年度より生徒の肯定的な回答が微増しており、今後も生徒たちがよりよい学校生活が送れるよう取り組んでいきたい。またできるだけトラブルがないように指導するとともに、トラブルがあった場合には誠実に対処し、説明責任を果たす。

⑭ 学校は、安全で快適に生活したり学習したりできるような環境づくりに取り組んでいる。

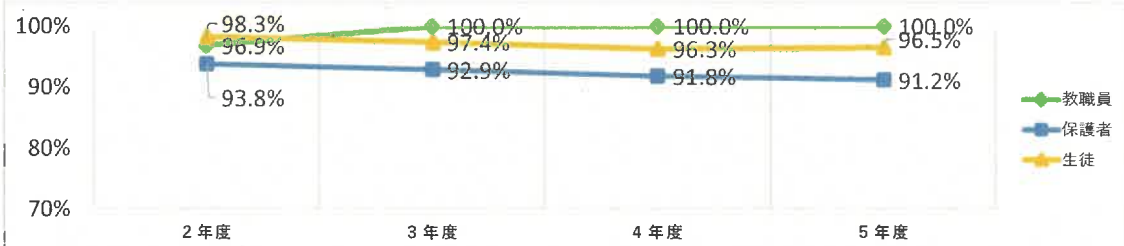
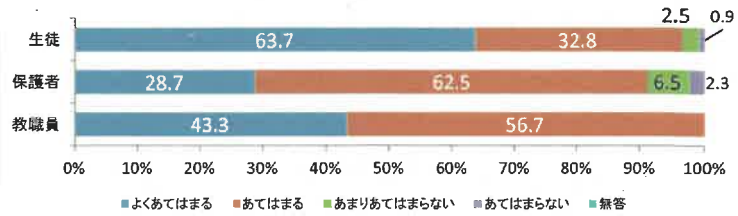
	あてはまる	あてはまらない
生徒	91.8%	8.2%
保護者	90.0%	10.0%
教職員	93.3%	6.7%



毎月20日を「学校安全の日」として施設・設備の点検を実施している。毎日の掃除をていねいにするこで、きれいに維持されている。教室環境や校内の掲示物も教職員全体の創意工夫で活気あふれる内容になっている。

⑮ 学校は、ボランティア活動などで地域とのつながりを大切にしている。

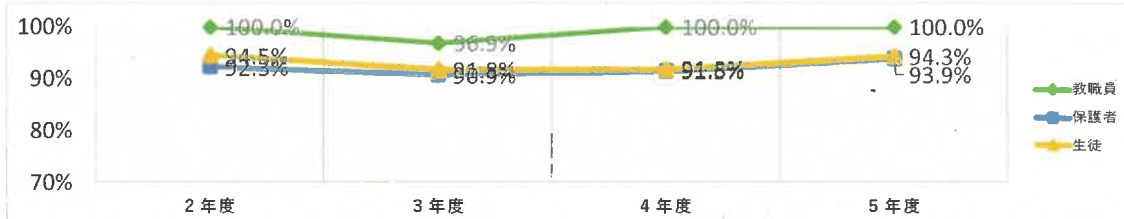
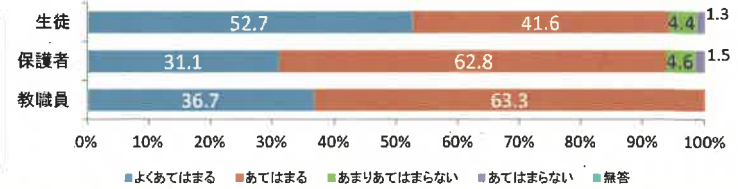
	あてはまる	あてはまらない
生徒	96.5%	3.5%
保護者	91.2%	8.8%
教職員	100.0%	0.0%



毎回100人をこえる生徒がエコフレンドに参加し、地域の方とともに江川周辺の清掃活動を行っている。また第3水曜日には、鴨島自動車学校や阿波吉野川警察署と協力し「マナーアップ活動」に取り組んでおり、積極的に地域の方とのつながりを育てている。

⑯ 学校は、5月に新型コロナウイルス感染症の対応が5類になってから、行事や学校生活が充実するように工夫している。

	あてはまる	あてはまらない
生徒	94.3%	5.7%
保護者	93.8%	6.2%
教職員	100.0%	0.0%

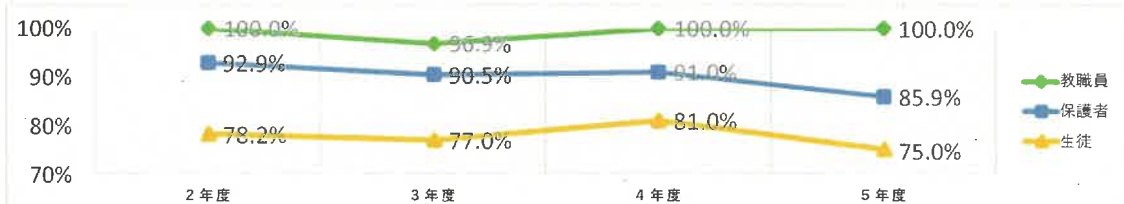
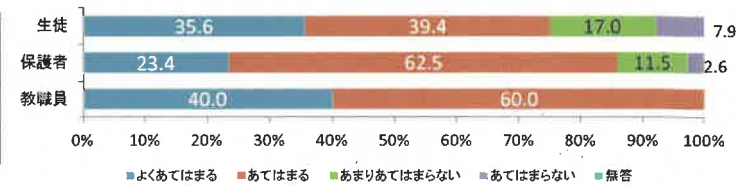


学校行事が再開し、部活動も制限なく活動できているため、三者とも高い肯定的な回答が得られている。一中祭や合唱コンクールも制限なく実施でき、学校生活もほぼ通常どおりに行えた。

⑰ 私は、学校からの連絡プリントなどを保護者にきちんと渡して見せている。

⑱ 学校は、ホームページ・学年通信・保健だよりなどで学校の活動や生活の様子を知らせている。

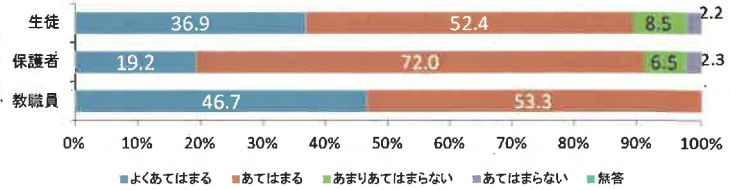
	あてはまる	あてはまらない
生徒	75.0%	25.0%
保護者	85.9%	14.1%
教職員	100.0%	0.0%



連絡プリント等をきちんと保護者に渡していない生徒が多くいることがわかった。今年度途中から配布物等のプリント類をマチコミメールで送ることを実施した。今後は回答を必要とするプリント類をどうしていくかについて協議していく。

⑩ 私は、人権学習に意欲的に取り組んでいる。

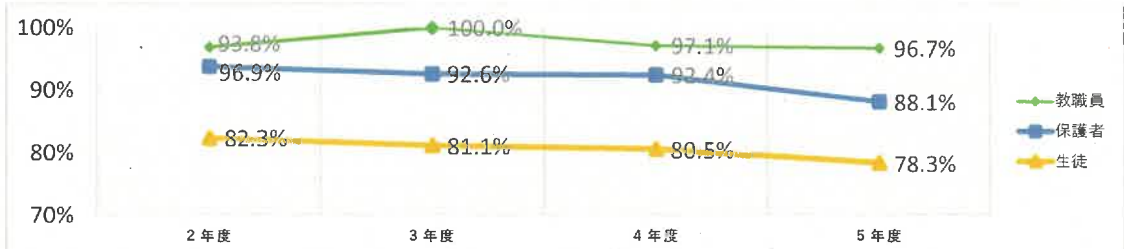
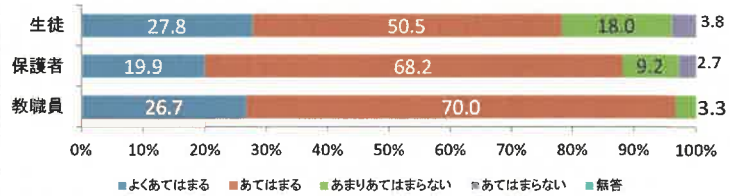
	あてはまる	あてはまらない
生徒	89.3%	10.7%
保護者	91.2%	8.8%
教職員	100.0%	0.0%



各学級で真剣に学習に取り組んでいる。また、各学年で足並みをそろえ、積極的に人権学習に取り組んでいる。学習内容等を学年通信でお知らせする機会を増やし、保護者にも一緒に考えていただけるようにしていきたい。

⑪ 私は、学習や生活の目標を立て、前向きに実行している。

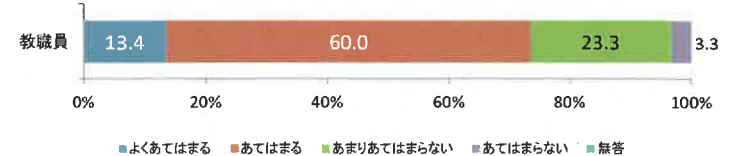
	あてはまる	あてはまらない
生徒	78.3%	21.7%
保護者	88.1%	11.9%
教職員	96.7%	3.3%



生徒は計画や目標を立てる習慣が定着していないため、引き続き、目標を立てることの意義や計画の立て方などを指導する必要がある。また、計画的に実行することにより、学業の成績が向上したり、部活動等の大会で良い結果が出せたりという成功体験を積み重ねることができるようにしていきたい。

⑫ 教職員は、「働き方改革」を意識して、部活動時間を設定するなどして仕事を行うことができる。

	あてはまる	あてはまらない
教職員	73.3%	26.7%



超過勤務時間が80時間を超える職員も多い。生徒のためにという思いが強い職員が多いと感じられる。ICTを活用したり、効率的な時間の改善をしたりと業務改善を推進した。心身の健康のための働き方改革をさらに推進していきたい。